

20周年記念式典

2017（平成29）年8月、フィリピンでの創業20年の節目に金型輸出専用工場の披露を兼ねた周年記念式典を挙行了。式典には100人余りに参加いただいた。主賓は経済特区のチャリト・プラザ長官だった。輸出加工区には4000社が所属しているため、同氏に臨席いただくことは常識的には無理である。

しかしその年の1月、安倍総理一行と政府専用機に搭乗し、ドゥテルテ大統領の故郷、ミンダナオ島を訪問し、歓迎パーティーに参加した際、私はプラザ長官と名刺交換をしていたのだ。私の推測だが、「安倍総理に同行するくらいだから著名な会社に違いない」と忖度（そんたく）していただいたの

伊藤製作所社長

伊藤 澄夫 36



だろう。

大統領は、同郷で旧知の仲である元女性空軍士官のプラザ氏を長官に抜擢したのだ。総理に随行させていただ

が行わねばならないようだ。大勢の多くの技術者が育ったが、彼らはほとんど離職しない。また6月から当社の社長は現地社員のローズが務めている。マーケットが小さくて、多くの技術者がそろったことで、精密金型の輸出専用工場が完成した。その工場をどうぞご覧ください」

プラザ長官に褒められたスピーチ

たことの幸運がここで

その内容の一部を翻訳して述べたい。

最後に、安倍総理が当社のフィリピン事業の成功を紹介する記者会見のビデオを流したところ、大きな歓声が上がった。

も生きた。

「20年以上前から日本企業の海外進出は加速した。多くの企業はマーケットの大きい中国を目指した。同時に多

スピーチ終了後、プラザ長官は満面の笑みを浮かべ近寄ってきた。「イトウサン、あなたのようにフィリピンを良く思ってくれる日本人に初めて会った。今後、日本に投資をお願いに行く時にはスピーチを頼みたい」と言われた。

スピーチは多くの皆さんは私のフィリピン進出計画に疑問を持った。しかし、私の答えは簡単だ。マーケットの大きさより、教育レベルの高い国が当社の業種に重要なのだ。次に誰もが英語で会話できる地ではCE

「話し方はへたでも内容が良ければいいのか」と、私は変な自信を持った。

ローズ社長に疑問を持った。しかし、私の答えは簡単だ。マーケットの大きさより、教育レベルの高い国が当社の業種に重要なのだ。次に誰もが英語で会話できる地ではCE

O（最高経営責任者）

O（最高経営責任者）

私が予想した通り、忠誠心があり多

O（最高経営責任者）

私が予想した通り、忠誠心があり多

O（最高経営責任者）

私が予想した通り、忠誠心があり多



創業20周年の記念式典で（左から3人目がチャリト・プラザ長官）